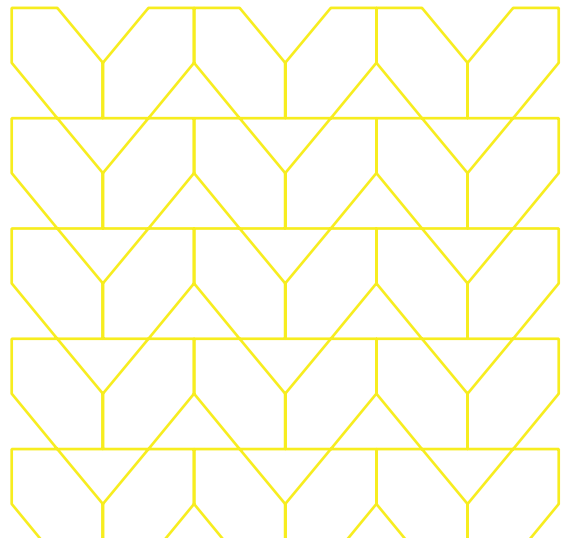




ニッセイアセットマネジメント 株式会社

Webアイソレーション(分離)の技術が
大切な運用資産を守る
コストを抑えつつ確実なセキュリティ対策が実現



User Profile

ニッセイアセットマネジメント株式会社

所在地： 東京都千代田区丸の内1-6-6

日本生命丸の内ビル

導入時期： 2017年12月

URL： <https://www.nam.co.jp/>



システム開発部
システム専門部長
大田垣 洋 氏



システム開発部 システム企画室
課長補佐
森 崇志 氏



セキュアなWeb閲覧環境の実現を目指し Webアイソレーション(分離)の導入を検討

長い歴史と実績を持つ日本生命グループの資産運用力を結集し設立されたニッセイ アセット マネジメント。経営理念に「お客様のご満足のために」「プロフェッショナリズムの追求」「公正で誠実な企業文化の醸成」を掲げる同社は、個人・法人に向けてすぐれた運用サービスを提供することで、顧客の長期的な資産形成や社会の発展に貢献していくことを目指している。

同社が資産運用における安心・安全を確保するため、セキュアなWeb閲覧環境の実現を目指し、新たなシステムの検討に入ったのは2015年のことである。その理由についてシステム開発部 システム専門部長大田垣洋氏は「ちょうどこのころ、某社で大規模な情報漏えい事件が発生し、当社は大丈夫かということになりました。また、親会社である日本生命でも、金融庁のセキュリティに関するガイドラインに沿った対策を取り入れることになったのです。そこで、セキュリティ対策を強化する機運が高まったのですが、このときポイントとなったのがWeb閲覧におけるセキュリティリスクでした。当社の業務において、危険なサイトへアクセスする可能性は少なくありません。ゆえに、抜本的な対策としてWebアイソレーション(分離)の導入を検討することにしました」と説明する。

同社は当初、ダブルブラウザソリューションの導入を考えていたという。これは、1つのクライアントの中に、Webアクセス用のブラウザと内部ネットワーク用のブラウザ、2つのブラウザを用意。Webアクセスには仮想マシンを利用することで、ユーザー環境とインターネットの分離を実現するというものだった。

当時はこれがWeb分離を実現する唯一の技術だったのだが、実際にテストしてみるとユーザーの使い勝手がひどく悪かったという。この点についてシステム開発部 システム企画室 課長補佐 森崇志氏は「ブラウザを起動する際には1分程度待つ必要があり、それからようやくアクセスが可能になりました。これではユーザビリティを大きく損ねてしまい、業務にも影響を及ぼすことが明らかです。また、ハードウェアへ多額の投資が必要というのもネックでした」と振り返る。

独自のWebアイソレーション技術による無害化 多額の投資は不要、迅速な導入が可能な点を評価

そこでニッセイ アセット マネジメントでは、何か別の手段はないか探していたところ、Menlo Securityの広告を目にしたという。これは2016年のことで、マクニカネットワークスが米Menlo Securityと販売代理店契約を締結し、ちょうど国内での販売を開始したところだった。

「独自のWebアイソレーション技術による無害化という新しい手法に魅力を感じました。また、多額の投資を必要とせず、迅速な導入が可能な点も魅力でしたね」(大田垣氏)

同社はMenlo Securityについて慎重に検討を行い、2016年末には導入を前提にさまざまなテストを実施。2017年初めから本格的に社内での検証をスタートさせた。

検証の際には閲覧できないサイト、うまく表示できないサイトを潰していった。ユーザビリティにも関わることであり、時間をかけて念入りに検証を進めていったという。

「はじめのうちは、閲覧できないサイトが一日に複数存在したこともありましたが。こういったときには、マクニカネットワークスにうまく設定のやり方を教えてもらい、すぐに見られるようにしていただきました。また対応が難しい場合は、米国のMenlo Security本社までエスカレーションしてもらったのですが、その際のレスポンスが非常にスピーディで柔軟だったのはありがたかったですね。おかげで不安なく社内検証を進めることができました」(森氏)

2017年9月からは正式に導入作業を開始。すでにテスト運用していたシステム開発部のフィードバックを反映させるかたちで順次、導入を進めていった。そして2017年末までには、当時の全社員に相当する500ライセンス分の展開を完了させている(現在は600ライセンスまで拡張)。

また、この作業に合わせてブラウザからアクセスログを収集。これをもとに特定の安全なWebサイトをホワイトリスト化、閲覧を許可するという運用を行っている。

導入のPOINT

- **WebアイソレーションによってWeb閲覧における確実なセキュリティ対策が実現**
- **マルウェア検知に伴う対応の件数が大幅に減少、運用の負荷が軽減**
- **アプリケーションまで含め、利用の実態が可視化された**

Web閲覧における確実なセキュリティ対策が実現 システム管理者の運用負荷も軽減

ニッセイ アセット マネジメントがMenlo Securityを導入して3年近くがたつが、その効果についてはWebアイソレーションによってWeb閲覧における確実なセキュリティ対策が実現した点が大きい。また、システム管理者としての立場からは、運用負荷の軽減も大きな成果だという。

「例えば、マルウェア検知に伴う対応の件数が大幅に減少しました。かつては月に5～6件、ときには10件近くになることもありましたが、導入後は1件あるかないかまで減りました。もちろんクリティカルなものは一切ありません。この種の対応に煩わされることがなくなったことで、本来優先すべき業務に集中できるようになりました」（森氏）

また、Menlo Securityによってブラウザと非ブラウザ経由の通信が明確に識別できるようになり、アプリケーションまで含めた利用の実態が可視化された。

「当社ではファイルのアップロードを禁止しています。これまではWebフィルタのカテゴリライズによって対策を行ってききましたが、すり抜けてしまう可能性が残っていました。Menlo Securityはすべての通信を網羅できるため、こうした不安も払拭されました」（大田垣氏）

一方で、Excelファイルなどを扱う際は、セーフビューで閲覧したのち必要があればダウンロードと2段階の手順を踏むことになったが、すぐに操作性には慣れた。また、その後は、回線の強化に加え、Menlo Securityの機能拡張により、利便性も改善したそうだ。

Menlo Securityを軸に据えた シンプルな運用を検討

ニッセイ アセット マネジメントでは、今後Menlo Securityを軸としたシンプルな運用を目指していくという。エンドポイントのセキュリティ環境が大きく変化したことで、セキュリティ対策についての考え方も変わってきたからだ。

「以前は多層防御というアプローチから、それぞれの対策をガチガチに固める必要があると考えていました。しかし今回の導入により、エンドポイントが確実に守られている安心感が生まれたことで、もっと運用をシンプルなかたちにできるのではないかと、それによってコストも抑えられるのではないかと考えるようになりました」（森氏）

マクニカネットワークスの対応については、営業担当まで含め、スタッフが製品と技術に詳しい点を高く評価している。

「定期的なフォローがあり、しっかりサポートしてくれるので頼もしさがあります。あえて希望をいうならユーザー同士の意見交換の場が欲しいですね。運用面のナレッジベースとなるような活用ができればありがたいと考えています」（森氏）

MENLO
SECURITY

お問い合わせ：
www.menlosecurity.jp
japan@menlosecurity.com



Menlo Securityについて

メンロ・セキュリティは、他に類を見ないアイソレーションを活用したクラウドセキュリティプラットフォームにより、企業が脅威を排除し、生産性を完全に維持することを可能にします。メンロ・セキュリティは、悪意のある攻撃を防ぐために最も安全なゼロトラストアプローチを提供し、エンドユーザーはセキュリティの存在を気にせずにオンラインで仕事を行うことができ、さらにセキュリティチームの運用負担を軽減することで、クラウドセキュリティの目標を実現できる唯一のソリューションとなっています。これにより企業は安全なオンライン体験を提供することができ、ユーザーは安心して業務を行いビジネスを進めることができます。